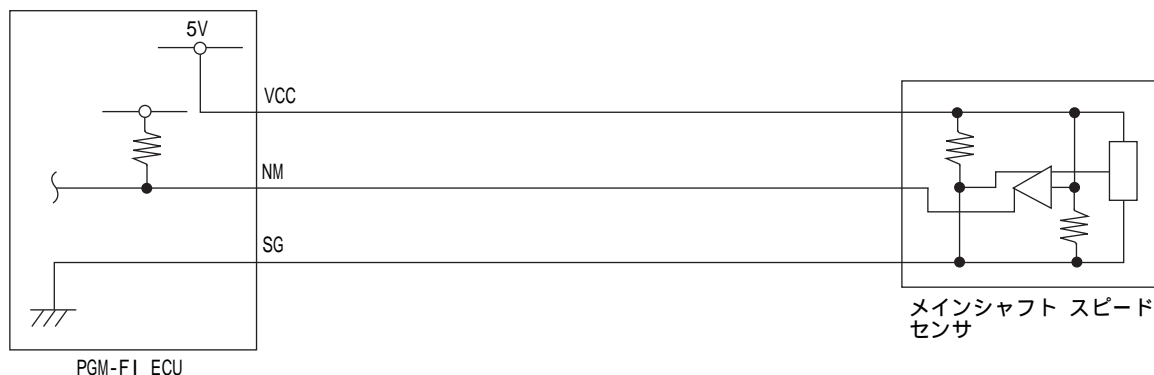


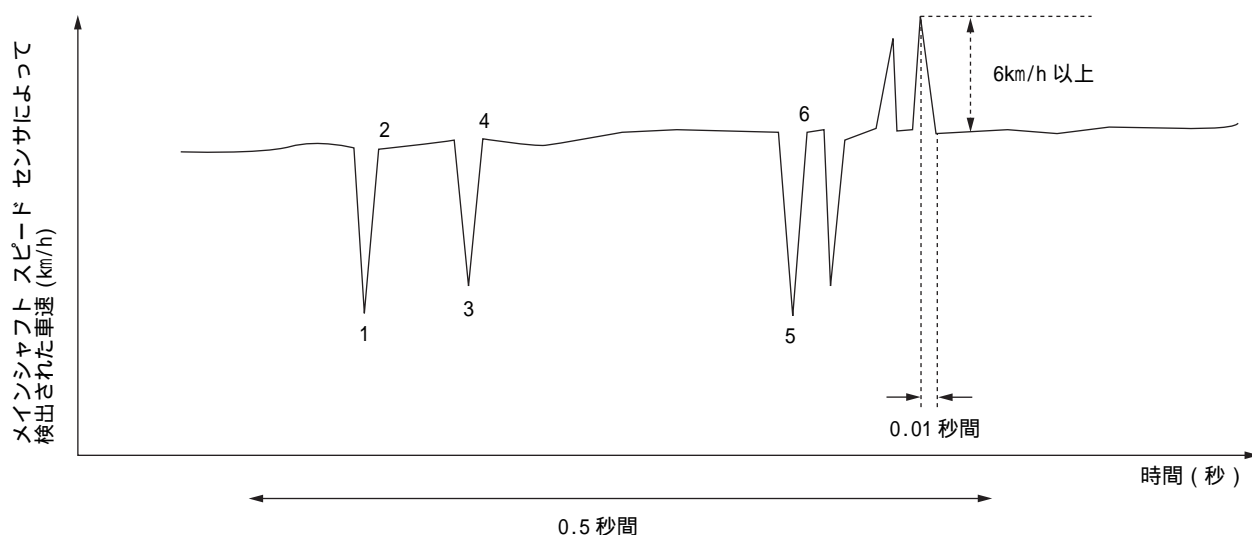
DTC 解説

DTC P0718: メインシャフト スピード センサー時的な短絡または断線

検知原理解説



01_P0715C_SMGA00



01_P0718G_SMGA00

メインシャフト スピード センサは、トランスミッション ケースに取付けられている。
メインシャフト スピード センサは、メイン シャフト外周に備えられた回転数検出用ギヤの回転を検出し、回転数に応じて変動する周波数の電圧信号を発生させる。この信号は PGM-FI ECU へ送られ、メインシャフト回転数の測定に使用される。
メインシャフト回転時におけるメインシャフト スピード センサ パルスの欠落等を、PGM-FI ECU は故障として検出する。
故障は断線あるいは一時的な断線、短絡により発生する。
規定を超えるメインシャフト スピード センサからの検出速度変動が、規定時間内に規定以上の回数検出された場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

DTC 解説

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	0.5 秒間以上
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯：消灯、D 表示灯：点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
車速 [車速]	20km/h	
バッテリー電圧 [バッテリー電圧]	11V	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0716、P0717、P0721、P0722	
その他	変速中でないこと	
	カウンタシャフト スピード センサの一時的な故障が検出中でないこと	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

メインシャフト スピード センサから検出された車速 [メインシャフト スピード] が 0.01 秒間で 6km/h 以上の変動を異常変動としてカウントし、異常変動の回数が 0.5 秒間に 6 回以上検出された場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU とメインシャフト スピード センサ間コード (NM ライン) の一時的な短絡
- ・ PGM-FI ECU とメインシャフト スピード センサ間コード (VCC ライン) の一時的な断線 (カプラ外れ、もしくは緩みを含む)
- ・ PGM-FI ECU とメインシャフト スピード センサ間コード (NM ライン) の一時的な断線 (カプラ外れ、もしくは緩みを含む)
- ・ メインシャフト スピード センサの一時的な故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

1. エンジンを始動する。
2. 車速 [車速] 20km/h 以上で、1 速から 5 速まで変速させ走行する。
 - ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。